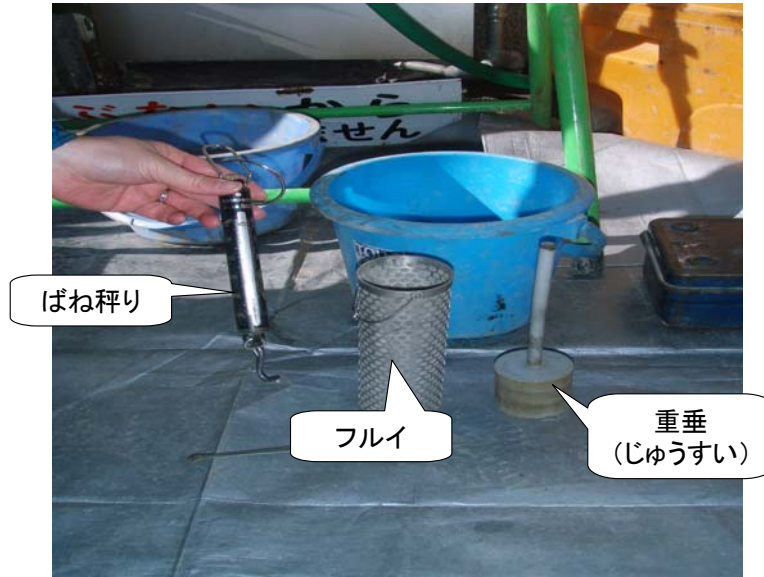


## FK法の試験要領

### FK法の器具



#### 1: 試料土の採取

操作方法 平均的な現場発生土を試料土保存用容器に約1ℓ採取する。  
注意事項 含水比が変わらないように出来るだけ密封容器に採取する。

#### 2: 試料土の重量測定

操作方法 採取した試料土から200gの土をフルイに入れ、バネ秤りを用いて正確に測定する。※総重量(フルイ150g+土200g)=350gとする。  
注意事項①試料土中に直径20mm(1円玉の直径)の直径以上の礫があれば取り除く。  
②試料土はスプーンを用いてランダムに採取し、手で直接入れないようにする。



### 3: 自然含水比チェック

操作方法 試料土の入ったフルイを安定した台の上に置き、重垂で10回突固める。

注意事項①突固めは重垂の上部がフルイの上縁に達するまで引き上げたあと自然落下させて行なう。

②突固めは、2秒に1回程度の速さで行なう。

#### 判定①

突固め時にフルイの側面から水が浸み出するか、突固めた土の表面に水が浮き出していれば**不良土と判断**

(以下の操作は省略する。※再使用は不可能となる。)



### 4: 水洗い、フルイ分け

操作方法①フルイ上部より水道水を注ぎながら激しく振り、細粒分を水とともに十分洗い流す。

②洗水が透明になれば水洗を終了する。

③水道が使用できない場所で行なうときには、予めバケツに水を20L用意しておき、その水を水道水のかわりに使用する。

注意事項①粘土のカタマリなどは、予め砕いておくとよい。

②水洗途中でも、時々スプーンで試料土をかき回し、粘土などのカタマリを砕くとフルイ分けが容易となる。

③時々、水洗いを中止してフルイ面より浸み出す洗水をよく観察し、濁っていないければ次の操作に移る。



## 5: 突固め

操作方法①水洗、フルイ分け後、残った試料土の表面を重垂で平らにする。

②フルイを安定した台の上に置き、重垂で10回突固める。

注意事項①「3:突固め」と同じ



## 6: 重量測定

操作方法 フルイの縁に付着している水滴を雑布でふき取った後、バネ秤りでフルイごと総重量を測定する。ただし、重垂は除くこと。

注意事項 突固め後、直ちに重量測定を行なう。



## 7:水洗 フルイ分けの確認

操作方法 「4:水洗 フルイ分け」～「6:重量測定」の操作を繰り返し、前回との重量の差が2.5g以内となるまで繰り返す。

注意事項 水を20ℓ以上使用した場合には、「4:水洗 フルイ分け」～「6:重量測定」の操作を繰り返さなくてもよい。

## 判定②

### 判定基準

試験要領の「4:水洗い、フルイ分け」～「6:重量測定」を2回以上繰り返した後、総重量が315g以上かつ前回との総重量の差が2.5g以内であること。